

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場会社名 朝日工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5456 URL http://www.asahi-kg.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤松 清茂
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 中村 紀之 (TEL) 03-3987-2161
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,561	8.9	△525	—	△545	—	△1,262	—
25年3月期第2四半期	18,887	△8.5	△565	—	△590	—	△515	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △1,162百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △536百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△180.31	—
25年3月期第2四半期	△73.64	—

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	36,630	15,040	41.1	2,148.62
25年3月期	41,348	16,482	39.9	2,354.67

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 15,040百万円 25年3月期 16,482百万円

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3,000.00	—	4,000.00	7,000.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 現時点において平成26年3月期の期末配当予想額は未定です。

2. 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。平成25年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	12.0	230	—	160	—	△670	—	△95.71

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	7,200,000株	25年3月期	7,200,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	200,000株	25年3月期	200,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	7,000,000株	25年3月期2Q	7,000,000株

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済・金融政策による円安・株高傾向や、輸出企業を中心とした業績改善など、景気回復に向けた動きが見られたものの、エネルギーコストの上昇などが引き続き懸念材料となっております。

当社グループの業績に影響を与える建設需要は、官民ともに工事物件が増加したことにより、堅調に推移しました。しかし、鉄鋼建設資材事業の主力製品である鉄筋は、鉄筋加工の人手不足で施工が進まない中、供給過剰感が強く、他の鉄鋼製品と比べ需要回復が遅れるなど、依然として厳しい状況が続きました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は20,561百万円（前年同期比8.9%増）、営業損失は525百万円（前年同期は営業損失565百万円）、経常損失は545百万円（前年同期は経常損失590百万円）、四半期純損失は、当期業績等を踏まえた繰延税金資産の一部取崩し額572百万円を含め合計で570百万円の法人税等調整額を計上したことで1,262百万円（前年同期は四半期純損失515百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①鉄鋼建設資材事業

販売数量は、2012年度受注残の出荷と積極的な受注活動により増加し、前年同期と比べ増収となりました。利益面では、販売単価の値上げとコストダウン活動に努めましたが、主原料である鉄スクラップの高値推移により、販売単価との値差が縮小し、また、エネルギーコストが上昇したことから、前年同期と比べ減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は13,003百万円（前年同期比6.5%増）、セグメント損失は548百万円（前年同期はセグメント損失210百万円）となりました。

②農業資材事業

肥料事業では、2013年6月からの価格値上げによる繰上げ出荷とOEMの受注拡大により、主力製品である有機質肥料を中心に販売数量が大幅に増加し、前年同期と比べ増収増益となりました。

園芸事業では、春先の天候不順に加え夏場における猛暑が続いたことにより、家庭園芸用資材の売上が低調であったことから、前年同期と比べ減収となりました。

種苗事業では、トマト黄化葉巻病に耐病性のある「アニモ」の販売が増加しました。

乾牧草事業では、円安で仕入価格が上昇しましたが、上昇に見合った値上げが進まなかったことから、前年同期と比べ減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は6,263百万円（前年同期比12.5%増）、セグメント利益は478百万円（前年同期比98.7%増）となりました。

③環境ソリューション事業

官公庁案件の調査・分析業務や環境アセスメント業務の受注確保により、前年同期と比べ増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高351百万円（前年同期比16.1%増）、セグメント利益は8百万円（前年同期はセグメント損失10百万円）となりました。

④砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業

砕石砕砂事業では、生コンクリート需要が堅調に推移したことによる販売数量の増加と、販売価格の値上げが進みました。マテリアルリサイクル事業では、がれき類・木くずともに集荷量が拡大しました。これらの要因により、砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業では、前年同期と比べ増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は940百万円（前年同期比15.6%増）、セグメント利益は68百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

⑤その他

報告セグメント以外の事業業績は、売上高は139百万円（前年同期比30.2%減）、セグメント損失は7百万円（前年同期はセグメント利益1百万円）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、上記各セグメント別売上高の合計からセグメント間の内部売上高137百万円を差引き、20,561百万円となり、営業損失は、上記各セグメント別利益または損失の合計からセグメント間の取引消去額、および管理部門経費など各事業に帰属しない全社費用の合計525百万円を差引き、525百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は13,997百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,142百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、前連結会計年度末が末日休日であったことの影響などにより受取手形及び売掛金の減少3,223百万円となったことと、原材料及び貯蔵品の減少435百万円、現金及び預金431百万円の減少等であります。

固定資産は、22,632百万円となり、前連結会計年度末に比べ575百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、有形固定資産497百万円の減少等であります。

この結果、資産合計は36,630百万円（前連結会計年度末比4,718百万円減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、17,402百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,877百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、前連結会計年度末が末日休日であったことの影響などにより支払手形及び買掛金の減少1,933百万円、未払金（その他）の減少675百万円、設備関係支払手形（その他）の減少608百万円、設備関係未払金（その他）の減少293百万円となったことと、短期借入金980百万円の増加等であります。

固定負債は、4,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ398百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、長期借入金の減少645百万円、長期未払金（その他）の減少138百万円と繰延税金負債（その他）550百万円の増加等であります。

この結果、負債合計は21,590百万円（前連結会計年度末比3,275百万円減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は15,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,442百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、利益剰余金1,542百万円の減少等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末39.9%から41.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ431百万円減少の2,130百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,462百万円（前年同期比1,370百万円増）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純損失が633百万円となったことと、減価償却費が1,091百万円、売上債権の減少額が3,223百万円、たな卸資産（その他）の減少額が725百万円、仕入債務の減少額が1,933百万円、未払金（その他）の減少額が654百万円となったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,517百万円の資金支出（前年同期比59.7%増）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が1,434百万円となったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、383百万円の資金支出（前年同期は、1,051百万円の資金増加）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が845百万円、配当金の支払額が280百万円、セールアンド割賦バック取引による支出が146百万円となったことと短期借入金の純増加額が980百万円となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2014年3月期の業績予想につきましては、2013年5月10日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、2013年11月5日公表の「通期業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当無配）及び繰延税金資産の一部取崩しに関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,561,863	2,130,808
受取手形及び売掛金	7,792,413	4,568,926
商品及び製品	5,477,210	5,187,040
原材料及び貯蔵品	1,908,262	1,472,921
その他	410,666	641,983
貸倒引当金	△10,180	△4,035
流動資産合計	18,140,235	13,997,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,785,219	3,849,912
機械装置及び運搬具(純額)	12,540,718	12,004,424
土地	2,665,306	2,673,220
その他(純額)	1,120,925	1,087,206
有形固定資産合計	20,112,169	19,614,763
無形固定資産	659,591	650,768
投資その他の資産	2,436,529	2,367,172
固定資産合計	23,208,291	22,632,704
資産合計	41,348,527	36,630,350
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,714,485	5,780,794
短期借入金	5,915,000	6,895,000
1年内返済予定の長期借入金	1,690,000	1,490,000
1年内償還予定の社債	120,000	120,000
未払法人税等	84,660	75,291
賞与引当金	261,707	232,409
その他	4,493,917	2,808,734
流動負債合計	20,279,770	17,402,230
固定負債		
社債	330,000	270,000
長期借入金	2,395,000	1,750,000
退職給付引当金	1,083,342	1,061,637
その他	777,720	1,106,172
固定負債合計	4,586,063	4,187,809
負債合計	24,865,833	21,590,040

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,190,000	2,190,000
資本剰余金	1,802,000	1,802,000
利益剰余金	12,404,281	10,862,114
自己株式	△293,311	△293,311
株主資本合計	16,102,970	14,560,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	294,848	387,609
為替換算調整勘定	84,874	91,896
その他の包括利益累計額合計	379,723	479,505
純資産合計	16,482,693	15,040,309
負債純資産合計	41,348,527	36,630,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年9月30日)
売上高	18,887,197	20,561,033
売上原価	16,014,605	17,651,799
売上総利益	2,872,592	2,909,234
販売費及び一般管理費	3,438,478	3,435,226
営業損失(△)	△565,885	△525,992
営業外収益		
受取利息	442	1,921
受取配当金	14,526	17,780
持分法による投資利益	49,632	60,040
その他	31,632	26,164
営業外収益合計	96,234	105,906
営業外費用		
支払利息	53,339	58,893
売上割引	46,493	50,723
その他	21,024	16,001
営業外費用合計	120,857	125,618
経常損失(△)	△590,508	△545,703
特別利益		
固定資産売却益	—	1,999
特別利益合計	—	1,999
特別損失		
固定資産処分損	47,958	59,109
投資有価証券評価損	152,039	—
その他	—	30,487
特別損失合計	199,997	89,596
税金等調整前四半期純損失(△)	△790,506	△633,300
法人税、住民税及び事業税	27,670	57,978
法人税等調整額	△302,666	570,888
法人税等合計	△274,995	628,866
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△515,510	△1,262,166
四半期純損失(△)	△515,510	△1,262,166

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△515,510	△1,262,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,738	92,760
為替換算調整勘定	2,517	7,021
その他の包括利益合計	△21,220	99,782
四半期包括利益	△536,730	△1,162,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△536,730	△1,162,384
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△790,506	△633,300
減価償却費	1,062,105	1,091,007
売上債権の増減額(△は増加)	2,275,503	3,223,786
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,185,683	△1,933,690
その他	795,761	△168,783
小計	157,179	1,579,020
利息及び配当金の受取額	14,969	13,848
利息の支払額	△58,794	△59,390
法人税等の支払額	△21,285	△71,107
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,068	1,462,370
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△881,451	△1,434,517
無形固定資産の取得による支出	△71,293	△75,396
その他	2,576	△7,130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△950,168	△1,517,044
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	175,000	980,000
長期借入れによる収入	1,700,000	—
長期借入金の返済による支出	△665,000	△845,000
社債の発行による収入	300,000	—
社債の償還による支出	△30,000	△60,000
セールアンド割賦バック取引による支出	△124,525	△146,648
配当金の支払額	△280,643	△280,690
その他	△23,152	△31,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,051,678	△383,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,517	7,021
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	196,096	△431,054
現金及び現金同等物の期首残高	2,327,720	2,561,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,523,817	2,130,808

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリュー ション事業	砕石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	12,208,795	5,566,313	252,507	811,713	18,839,331	47,866	—	18,887,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	37	50,444	1,834	52,317	151,254	△203,571	—
計	12,208,795	5,566,351	302,952	813,548	18,891,648	199,121	△203,571	18,887,197
セグメント利益 又は損失(△)	△210,816	240,999	△10,285	△7,467	12,429	1,418	△579,732	△565,885

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△579,732千円には、セグメント間取引消去△531千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△579,201千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリュー ション事業	砕石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	13,003,782	6,263,025	308,865	938,212	20,513,886	47,147	—	20,561,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106	5	42,834	2,168	45,114	91,921	△137,035	—
計	13,003,889	6,263,031	351,699	940,380	20,559,001	139,068	△137,035	20,561,033
セグメント利益 又は損失(△)	△548,550	478,868	8,381	68,667	7,367	△7,537	△525,823	△525,992

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△525,823千円には、セグメント間取引消去3,504千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△529,327千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。